

かわさき



発行日
平成31年1月31日
発行
川崎町議会

編集 議会広聴・広報委員会



「挑戦してこそ成長あり」

23P
かわさき想い人
子育てのしやすさ一番に

18P
研修レポート
福祉向上と資源活用など

6P
1月会議
小中学校 今年夏から

2P
町民との意見交換会
イノシシ被害対策を



町民の声を多く聴く



機会を

町民との意見交換会

11月8日・12日・14日、6会場で町民との意見交換会を開催しました。

ここでは、皆さんから出された意見や質問の一部を紹介します。



川内地区生活改善センター
新たな財源を
ふるさと納税を含めた「新たな財源」といっても、その簡単ではないと思いますが。

町全体で
町全体でイノシン対策を講じないと大変なことになると思います。仙台市のように入ってこない対策を。

11/14



山村開発センター
議員にチャレンジ
子育てしながら議員にチャレンジできるように環境が必要だと思います。

納得してもらえ活動
町民に納得してもらえる活動をすれば、「報酬を上げてほしい」と理解してもらえと思っていますが。

町が中心になって
下田地区の基盤整備を法人化するための代表者になる人がいません。町が中心になった会社をつくって農地を一本化してはどうでしょうか。



野上分館
議会広報紙は
読まれていますか
町民の皆さんが議会広報紙を読んでいるか、アンケート調査をしたことは。

11/12

町の魅力は
町の環境と観光を楽しんでいる人もいます。住民が楽しんでいけばこそ、町の魅力が増すと思います。



川崎小にも同じもの？
町内小中学校にエアコン設置をするようです。老朽化が進んでいる川崎小にも同じようなエアコンを設置するのですか。

碓石地区集落センター



報酬算定で
活動日数および時間の比較をして、町長と比べるのは適切なのでしょうか。
イノシン被害大変
電気柵は設置しているものの被害が大きい。捕獲するため、農の資格を取る日程などをもっと知らせてほしいです。

11/8



1日も早く
本砂金浄水場取水口工事は、いつ完成するのですか。簡易水道は時期にもよるが濁度が高いので、切実な要望です。

外科再開設は
川崎病院に外科再開設の要望をしていますが見通しは。

平成31年

3月会議 議発改正案提出

他町の定数削減は偶数が多い。
なぜ川崎町は奇数なのか。

定数
14人→13人が
妥当か？

定数1人減は
妥当だと思う。
減った分を各議員で
カバーして働いて
もらいたい。



議員数を少なくすると
住民の声が届きにくく
なる側面もあるが、
12人にしたら。

定数を減らせば
チェック機能が
効かなくなる。



減らせばいいという
ものではない。

11月に町内6会場で行われた「町民との意見交換会」で出された、議員定数と報酬についての意見をとりまとめました。

3月中旬	2月中旬～ 3月上旬	H31年 1月上旬～ 2月中旬	H30年 12月7日
<ul style="list-style-type: none"> 3月会議で議員定数・報酬共に、議員発議案で改正案を提出 	<ul style="list-style-type: none"> 町民の意見と答申内容を踏まえ、特別委員会最終決定 報告書を議長あて提出 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回議員定数・報酬諮問会議 適宜会議を開催し、答申書をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者機関および構成委員の検討

議員定数 第三者 定数14→

等調査特別委員会 機関へ諮問 13人・報酬1万5000円増

委員会では第三者機関に諮問、答申を受け、3月会議に改正案を提出する予定です。

30万円以上の報酬となるよう、
月給制でなく日給制にする。
仕事をした人にはそれなりに。

退職金、
年金などがないと、
若い人は安心して
立候補できない。



働いてくれば、
もっとあげても…。

年金や社会保障はあるの。
(ないとの答えに)それでは、
若い人は議員にならない。

なぜ報酬
1万5000円増なの？
納得してもらえる活動を
すれば上げてもいい。

生計を立てられるぐらいの
報酬を与えないことには、
若い人は出てこない。



1月会議

1月4日、工事請負契約案1件、条例制定案1件、条例改正案3件、補正予算案1件、議員発議案1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。ここではその一部を紹介します。

町内4小学校と2中学校

今年夏から



■提案理由
小・中学校空調設備整備工事を落札者と12月27日に仮工事請負契約を締結したため、議会の議決を求めるものです。

■契約先
日新設備株式会社
仙南営業所
●契約の方法
総合評価落札方式による
●工期
平成31年3月25日

12月会議

12月4日から7日までの会期で会議を開きました。町から提案された規約の変更案1件、条例制定案1件、一般会計特別会計補正予算案3件、人事案1件を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。ここではその一部を紹介します。また、一般質問では9人が町政を質しました。

一般会計補正予算

地区集会所にも設置を計画

■提案理由

歳入歳出予算総額に2216万円を追加し、歳入歳出予算総額を51億9319万円と定めるものです。

補正内容

- 国民健康保険基盤安定繰出金 ……636万円
- 地区集会所エアコン設計業務委託料 ……261万円
- 役場本庁舎喫煙所設置工事 ……432万円
- シルバー人材センター車両購入等 ……445万円
ほか

総額 **2216万円**



消防団条例見直し

■提案理由
消防団員の定数の見直しと定年年齢の引き上げを行うものです。



問 数年前にも定年年齢引き上げがあり、これ以上は難しいと思います。団員確保が厳しいなか、新たな対策も必要ではないでしょうか。

町長 答 団員確保が難しい時代になってきました。皆さんのご意見や他自治体の例を参考にしながら、消防団幹部の方と相談したいと思います。

条例制定

川崎町中小企業・小規模企業振興基本条例

■提案理由
中小企業者および小規模企業者の持続的な発展を図るため、基本理念や町の責務等を明らかにするなど基本的な事項を定め、中小企業に関する施策を総合的に推進するため、条例を制定するものです。

佐藤(昭)議員 問 対象は商売をやっているところ全てですか。

答 地域振興課長 全てが該当するわけではありません。町内502企業のうち小規模企業463が対象です。

人権擁護委員 (再任)



丹野 礼子 さん (野上)

任期 平成31年4月1日～平成34年3月31日まで (3年間)



眞幡 善次 議員



▲右折車線を早急に

問 公共施設の建て替えは

答 総合管理計画のもと準備

問 役場庁舎をはじめ公民館や川崎小学校など老朽化した建物がいくつもあり、将来の改築を真剣に考える必要があり。今後、修繕費だけでも大変な財源が必要になります。

答 町長 老朽化に伴う管理費や長寿命化対策の費用増大は、今後の大きな課題でもあります。公共施設等総合管理計画を踏まえつつ、改修の必要性や安全性の向上、施設機能の延命化を検討しなければなりません。

問 建て替えるとしても、計画から実現するまで5年から10年かかると思います。また、財政的にも厳しいなか、やりくりをしなければならなりません。

答 総務課長 総合管理計画の策定をし、計画的に改築するための準備を進め、公共施設等整備基金として財政計画を立てていきます。



▲築半世紀を迎える川崎小

問 右折レーン設置を

答 積極的に要望し実現を図る

問 町内には、国道をはじめ県道・町道・林道・農道・赤道等があります。それぞれ管轄が違い、また、縦割り行政のため問題を抱えています。

答 町長 町内にある道路において、管轄が違う場合でも、町として積極的にいかかわっていく必要があると思います。町内の国道・県道の改修や補修は、各道路整備促進期成同盟会や協議会で要望しているとともに、住民からの要望があった際には、随時、県に要望をしています。

問 支倉台団地入口の信号には右折レーンがないため、右折車があると渋滞が発生したり、接触事故もたびたび発生しています。町民の安全対策のためにも早急に対応が必要では。

答 町長 必要性は認識しています。県土木事務所には国道286号バイパス整備の際、右折レーンの設置を含め、支倉台交差点からの早期着工を要望しています。



9人の議員が質問

町政を問う

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆ 眞幡 善次 議員 9
 - (1) 町内の道路整備は万全か
 - (2) 公共施設の計画的改築を
- ◆ 佐藤 昭光 議員 10
 - (1) 国保会計への繰出金
 - (2) 笹谷街道松並木の保存
- ◆ 沼田 長一 議員 11
 - (1) 自治体クラウドの導入
- ◆ 神崎 安弘 議員 12
 - (1) 記念イベント開催の考えは
 - (2) 施設の利便性向上を
- ◆ 佐藤 新一郎 議員 13
 - (1) 新規定住者に支援を
- ◆ 的場 要 議員 14
 - (1) ペーパーレス化事業導入
- ◆ 高橋 義則 議員 15
 - (1) 子育て支援
 - (2) 鳥獣被害対策
- ◆ 佐藤 達也 議員 16
 - (1) 防災マップの活用を
 - (2) 特化したまちづくりは
- ◆ 大沼 大名 議員 17
 - (1) 交通弱者救済の取り組み
 - (2) 町の景観の保全と創造



佐藤 昭光 議員

国保へ財政支援やめるのか

問

税率の改正で対応

答

問 財務省が平成30年10月に、国民健康保険の赤字補てんのために一般会計からの財政支援をしないよう自治体に要請しました。当町の、ここ5年の繰り入れはいくらですか。

答 町長 平成25年度から28年度まで4年で1億259万円。29年度は626万円余剰金が出て、法定外繰り入れはありません。

問 国の要請に、町はどう対処するのですか。

答 町長 必要な財源は、国保の税率改正で対応していきます。

問 宮城県全体の状況は。

答 保健福祉課長 当町以外は財政調整基金があり、一般会計から法定外繰り入れしている例はありません。

問 一般会計からの財政支援である繰り出しは、全会計でいくらになりますか。

答 総務課長 国保・後期高齢・介護・下水道の特別会計と、病院・水道の企業会計に対し、約47億9000万円となっています。

問

松並木保存、もっと支援を

答

県と相談して協力

問 ボランティア団体の「笹谷街道の松並木を守る会」が長く保護活動をしています。町はどんな支援をしているのか伺います。

答 町長 職員が除草や清掃作業に参加、資材も寄せられています。



▲守る会の松並木除草・清掃作業

問 職員の参加は個人のボランティアだと思えます。町としての対応は別だと考えますが。

答 建設水道課長 平成20年に覚書を交わして活動しています。

問 良く保存されている松並木は、全国にも知られています。釜房湖と、それを取り巻くみちのく公園から山形や青根・蔵王の温泉地を結ぶ大きな観光資源としてもっと力を入れるべきでは。

答 町長 県土木事務所とも相談します。今後も協力を惜しまないつもりです。

問

運用コスト削減に大きな効果

答

現時点では導入しない方針

総務省が導入を進めている※自治体クラウドを、全国の多くの自治体が導入していません。運用コストの削減・災害時のリスク回避などの効果が期待できません。導入について考えを伺います。

※自治体クラウドとは、住民基本台帳・税務・福祉などの自治体の情報システムやデータを、外部のデータセンターにおいて管理・運用し、複数の自治体で共同利用するものです。

問 今後就労人口減少による税収減少が予想されます。歳出を抑え健全な運営を行うため、導入の検討や他の自治体からの情報収集は。

答 町長 現時点での試算では、運用コストが割高になることから導入しない方針です。現システムの見直しや更新時期を見据えて効果的に運用していきます。

問 総務省のホームページによると、導入済みの自治体のほとんどが削減効果ありと公表されています。どのような理由で費用が増大すると判断されましたか。

答 地域振興課長 運用コストだけを見ると、年間1000万円の削減になると計算しています。しかし、初期費用が7500万円かかると、5年間運用した場合、年間1200万円増額となります。

問 初期費用を軽減するため、国からの交付金や、他自治体との共同導入などの検討は。

答 地域振興課長 国から1100万円程度の交付金が見込めます。県の専門部会で共同クラウド化の話合いを進めています。

問 非常災害時のデータ保存はどのように対応していますか。また、リスク回避として遠隔地に保管を依頼する考えは。

答 地域振興課長 普段運用しているサーバーのほか、バックアップ専用サーバーと記録媒体に保存し庁舎内で管理しています。保管場所は検討します。



沼田 長一 議員



▲重要なデータをどう保存するか



神崎 安弘 議員

問 記念イベントの考えは

答 実施の可否から検討

問 町政施行から60年が経過しました。これまで地域を生かしたまちづくりは着実に進んでいます。町民への感謝、観光誘客と町の知名度アップを図るため、関係団体へ協力を要請したイベントを開催すべきと考えますが、**答** 町長 現在、アイデアを持ち合わせていません。実施の可否から検討します。



▲共同開催も…

問 開催に当たっては、企画・調整などに時間が必要だと思います。町を挙げての景気対策の起爆剤になると思いますが、考えは。**答** 町長 以前に企画したイベントが台風など気象に影響を受け中止にしたり経過もあります。企画調整に時間が必要です。検討します。

公共施設の老朽化に伴い改修、改築を画的に進めているとしていきます。施設利用者の利便性向上や高齢化対策としてトイレの洋式化とバリアフリー化を早急に進めなければならぬと考えます。次の点について伺います。

問

環境整備に努める

答

施設の利便性向上を

問 公民館分館、各センターのトイレ洋式化率とバリアフリー化への改修状況は。**答** 町長 合計24施設管理しています。トイレ洋式化は21施設で87・5%、バリアフリー化は14施設で58・3%です。



▲使いやすいトイレ

問 今後の改修、改築計画の考えは。**答** 町長 トイレ洋式化については、平成31年度に野上分館および前川西地区集落センターを予定しています。バリアフリー化改修は、分館長や施設管理者などからの要望はありません。利用者が快適に利用できるよう環境整備に努めます。

問

新規定住に抜本的支援を

答

現時点では困難

全国的に少子高齢化が進み、当町も人口減少を食い止める方策を考えなければならぬと思いますので、見解を伺います。

問 新規定住者への補助金交付や上下水道料金の一定期間無料化。土地を造成して20年間無償で貸し付けし、期間経過後に安く払い下げするなど、川崎らしい抜本策が必要ではありませんか。**答** 町長 空き家バンクの運用で、平成27年度から29年度までに25世帯64人の方々が移住されました。移住された方々には「住宅取得補助金」など6つの支援メニューで助成しています。

問 平成30年度の新築と転出の件数を尋ねます。**答** 町民生活課長 30年度の新築は16棟です。年々減少傾向にあります。**問** 転出は124件、169人です。

問 定住者に対して思い切った支援等を講じること、魅力を感じる若者が来るのではないのでしょうか。**答** 町長 土地を造成し建物を建て、上下水道を一定期間猶予するといったことまですべきなのか。ここで生まれ育った人たちの政策を考えた場合、現時点では困難です。

問 年間百数十人の人口が減っています。若い人たちが住める環境づくりをしないといけないと思いますが。**答** 町長 三役の給料カットの分を子育て支援に充てるなど、地域に人が根付いていただけるように考えています。



佐藤 新一郎 議員

空き家バンクの運用で、平成27年度から29年度までに25世帯64人の方々が移住されました。移住された方々には「住宅取得補助金」など6つの支援メニューで助成しています。

■住民基本台帳人口異動 (単位:人)

	総人口	出生	死亡	転入	転出
H26.4.1~ H27.3.31	9,373	43	111	221	305
H27.4.1~ H28.3.31	9,185	36	147	217	294
H28.4.1~ H29.3.31	8,993	45	147	241	331
H29.4.1~ H30.3.31	8,862	42	141	209	241
H30.4.1~ 11.30時点	8,826	24	62	171	169



高橋 義則 議員

問 人口減少を抑えるためには町を挙げて取り組むべきです。誕生祝い金は第3子と同じように第1子から30万

平成29年11月から1年間の出生は40人で、亡くなった方が126人います。当町の人口は減少が進んでいる現状です。さらなる子育て支援をすべきと思います。

答 町長 円とすべきではないです。第1子から30万円を出すと今後も厳しい財政支援が強いられる。限られた財源を効果的・効率的にいかすことが問われることから、困難だと考えています。

問 多くの子どもを産んでもらうためにも第3子が生まれたら、町の米と野菜を毎月支援したらどうですか。
答 町長 子どもが生まれた家庭への現物支給は家庭の事情により異なります。使い勝手を考えれば現金、助成券のようなフレキシブルなものが、受ける側にとっていいのではないかと考えています。

問 第1子から30万円を

答 引き上げるのは困難

問

ペーパーレス化導入に向けて

答

必要性について検討したい



的場 要 議員



▲朝日町広報紙



▲導入されたタブレット

問 議会・執行部どちらも導入することで印刷にかかる時間やコストの削減、事務の効率化、環境保全にもなります。先進地視察やセミナー参加など、導入するための検討を始める時期に来ていると考えますが。
答 町長 ペーパーレス化導入については、行政改革や働き方改革の一環でもあり、導入の検討が必要である時期と考えます。メリット・デメリット等も検証しながら、必要性について今後検討したいと思っています。

問 今年9月議会より導入した山形県朝日町では、「若い世代に興味をもっていただく、また、豊かな自然を守っていきましょう」ということで決めたそうです。当町も同じような環境だと思えますが。
答 町長 意見をしっかりと受けとめて、導入に向けて進んでいくようになると思います。

問 県内初導入ということになれば、間違いなくニュースになります。多方面でマスコミに取り上げていただく、お金を使わなくても宣伝してもらえます。こういう動きを発信することが大切だと思います。
答 町長 閉校利用やスキー場の夏場対策など、さまざまな面でマスコミに取り上げられます。情報を発信していくことは町民・町職員にとってプラスですので、さまざまな面からそういったことを進めたいと思います。

問 イノシシ対策は

答 総合的対策が重要

問 電気柵での助成事業で農作物の被害は少なくなっています。しかし、継続的な捕獲対策は必要だと思いますが。
答 町長 環境整備は、採らない柿や栗を伐採するなど餌をなくし、耕作放棄地や山沿いの刈り払いにより、生息しづらい環境づくりが必要です。「捕獲、被害防除、環境整備」の総合的な対策が重要になると考えています。

問 広報でお知らせをしていると思いますが、捕獲免許を取ってもらうよう、さらなる周知を進めるべきと思うのですが。
答 町長 広報紙などを使い、分かりやすくアピールしていきます。



▲継続的な捕獲対策を



佐藤 達也 議員

問 万が一の備えに

答 有効利用を図る

自然災害はいつ何時おこるか分かりません。地震・津波・台風・火山噴火・豪雨・落雷などに備えることが今日急務になってきました。そこで防災マップの活用がされているか疑問があります。次の点について見解を伺います。



▲目につきやすいところに

問 防災マップは配布しただけとなっていないか。マップを活用した訓練実施の考えはありますか。

答 町長 町民の方がマップの意味を理解し、利用してもらうことが大切です。

問 「防災指導員養成講習会」や「学校や地域での防災教室」で活用しています。また、自主防災組織などの防災教室の開催と訓練に有効活用したいと考えています。

答 町長 平成31年度に県より土砂災害警戒区域の追加指定がある予定です。平成32年度に改版を行う予定です。

問 作成した防災マップに不備はないですか。

答 町長 法令の事項に沿って作成したものであり、著しく不備があるものではありません。

問 作成した防災マップに不備はないですか。

答 町長 法令の事項に沿って作成したものであり、著しく不備があるものではありません。しかし、避難経路の掲載や予測を超える自然災害に対応しきれていないため、今後も見直し改善を図ります。

問

遊びスポーツの町へ

答

中身を再確認して

問 人口減少は、どの自治体も抱えている課題で、人口の奪い合いはどこかで止まります。今後は昼間の人口を増やすという視点が必要だと思います。そこで、遊びやスポーツに特化したまちづくりを目指してはいかがでしょうか。

答 町長 働き方改革にともない、仕事と余暇のバランスが重要視されていきますので、町の自然やアクセスの良さが注目されると推測しています。

問 遊びもスポーツも今あるコンテンツを再確認しながら、「まちづくり」を進めていきます。



▲グリーンシーズンも練習できるよ

問

デマンド交通の導入を

答

ニーズに合わせ整合性をとる

交通弱者救済と福祉の向上を目的に、平成13年から町民バスを運行、これまで延べ100万人以上が利用しています。利用者は年々減少傾向にあり、新たな対応策が求められている時期と考えます。

問 解決方法の一つとして、柴田町や山形県高畠町で運行している会員予約制のデマンド交通を、導入する考えはありますか。

答 町長 現在の町民バス運行事業とタクシー利用助成事業の2つの事業を検証して、「デマンド交通」が可能かどうか検討したいと思っています。

問 特区制度を利用するとか広い視野に立ち、現在の事業状況を確認しながら方向性を見定め、業務を行う必要があると考えますが。

答 町長 運営審議会の意見も尊重しなければなりません。また、タクシー利用助成事業を直すべきなのか、一つ一つの事業をチェックし、町民のニーズに合わせて整合性をとっていきたいと思っています。

問 交通弱者の移動手段として、理想的な姿について尋ねます。



▲植樹で景観整備を

問 江戸時代の趣が残されている松並木は、「笹谷街道の松並木を守る会」の活動に頼るだけでなく、町として主体的に松の木の植樹を行う考えはありますか。

答 町長 「笹谷街道の松並木を守る会」や地域住民と、現在ある景観の保全・継承に取り組んでいきたいと考えます。

問 誰でも手軽に安く早く移動できると言うことが理想です。しかし、コストもかかり、行政的には難しいところがあると思っています。

問 単に保存しただけでは、どんどん枯れてしまいます。素晴らしい街道と県も認めているならば、植樹し街道を整備する視点が必要だと考えますが。

答 町長 県土木事務所と意見交換します。



大沼 大名 議員



▲延べ100万人以上が利用している町民バス

問 松並木への植樹の考えは

答 県土木事務所と意見交換

10月30日に山形県高島町へ「デマンド交通の取り組み」を、翌31日は秋田県湯沢市へ「プラスチックリサイクルの現状と活用方法」を視察研修しました。

ポート 総務民生 常任委員会

研修レ 産業建設教育 常任委員会

10月24日に岩手県住田町へ「森林・林業日本一のまちづくり」を、翌25日は秋田県能代市へ「木材を多用した学校の整備」「公共施設建設への木材利用」を視察研修しました。

高齢者福祉向上にも

町民の「声」として

高島町では、平成8年度から町営バス運行を行いました。しかし、年々利用者が減少し検討した結果、平成14年度にデマンド交通の運行を開始しました。当初は商工会が運営主体となり運行してきま

利用者減少をうけ

平成22年1万4000人をピークに減少。目的を「町民福祉向上」に変更し、町直営のデマンドタクシーを平成29年10月から運行しました。町が実施する介護事業利用者へは、デマンド交通利用料金減免制度があります。

まとめ 早急な調査

当町でも町民バス利用者は減少傾向です。町民バスとデマンドタクシーの組み合わせで町の活性化と介護予防など、さまざまな成果が期待できると思います。現行の取り組みを含め、早急に調査検討すべきと考えます。

廃プラ再生

株式会社湯沢クリーンセンターは、廃プラスチックを再生する工場です。再生され製品ができるまでの流れや廃棄時の分別などを視察し、工場概要の説明を受けました。

再生製品を

まとめ 適正な分別から

プラスチック製品の分別や出し方などの難しさを感じました。町内では適正なゴミ出しの向上を図るため、行政区単位のスキルアップやゴミ分別マイスターの創設なども新たな策として必要です。



町の森林資源をいかすため

森林・林業日本一

住田町は森林率90%で「気仙杉」の産地として知られています。平成16年には、全国でも最大規模を誇る町有林などの豊富な森林資源。また、木工団地を活かした「森林・林業日本一のまちづくり」を策定しました。

官民一体でクリア

能代市では、小中学校19校中8校の校舎が秋田杉を使用しています。建設にあたっては、市職員・建設業者・資材納入者・設計者が一堂に会し、打ち合わせ・品質確認など事前に準備を進め、課題をクリアしてきました。

まとめ 積極的に活用する

町産材を公共工事で使用する場合には、補助金や製材までの期間を考慮する必要があります。更新時期が近い施設については、積極的に町産材を使用し建設することを望みます。

総務民生常任委員会 報告

調査日 11月19日

調査事項① 町民バスの現状

人数に見合った車両を

【調査結果概要】
町民バスは、地域公共交通の確保と福祉の向上を図るため、平成13年4月から運行しています。
乗車料金は「路線一律100円」で、高校生以下は無料となっています。

町民バス運営審議会の意見を町地域公共交通会議で協議し、利用者のニーズを踏まえながら決めていきます。
平成29年度は全体の約58%となっています。



▲ニーズに見合った運行を

【委員会意見】

町民バスの車両は4台で、うち1台が10年を経過し、年々修繕費が増加しています。また、全体乗車人数は、平成28年度と29年度の比較で8724人が減少している状況です。車両更新時には、乗車人数に見合った車両を検討してください。

今後、町民のニーズや意見をくみ上げながら、利便性の向上と安全で安定した運行に努めてください。

調査事項② 介護事業の現状

自発的に支援できる対応を

【調査結果概要】
当町の高齢化率は、平成29年9月末で33.3%と年々増加しています。介護認定者は29年9月末で534人となり、要介護・要支援認定率は17.5%と、全国平均18.1%や県平均18.0%を下回っています。一方で要介護3以上の重度認定率は8.0%で、全国・県平均6.2%を上回っています。

介護予防事業はサポーター養成事業をはじめ、さまざまな事業を開催し、地域活動の実践者養成に努めています。各地区では交流サロン（29カ所）など、自発的な活動が展開されています。



▲いつまでも元気に

【委員会意見】

介護予防の取り組みを展開するには、行政や地域包括支援センターの取り組みだけでは限界があり、地域との協働関係のなかで取り組みを進めることが大切です。町だけでなく、町民による自発的な活動を支援できるような体制を目指してください。

また、各地区で展開されている交流サロンが、参加しやすく、楽しく、安心であるよう、職員の見配りや参加者の希望をかなえるように創意工夫を望みます。

産業建設教育常任委員会 報告

調査日 11月16日

調査事項① 農産物生産の現状

検証改善で総合計画を

【調査結果概要】
水田利用状況は、水田1122haのうち水稲作付面積は55.6%で転作面積は44.4%となっています。転作物は大豆・そばをはじめとして作付けされていますが、安定した収入が得られないものや自家用で行っているものが多くを占めています。たまねぎやブロッコリーは、新規に取り組む農家の確立が課題となっています。

と な っ て い ます。また、キウイフルーツとイチジクは害虫や気候による被害を受けている状況で、生産量が多いものの自家消費などの割合が多く、出荷に至らない状態です。



▲ブランド化を目指して

【委員会意見】

振興作物として生産拡大・品質向上や収入の底上げを図る目的で推進してきましたが、量の確保や販路の確立まで至っていないのが現状です。

これまでの検証と改善が必要です。今後は農家の方の生産に対する意欲と軌道にのるまでの町の十分な支援が不可欠です。生産体制の組織化や販路の確立、6次産業化に展開を図ることなども視野に、総合的な計画を検討してください。

調査事項② 学力テスト結果の対応

生活習慣を整えて

【調査結果概要】
結果が文科省から報告された後、学力テストではどのような分野や領域が良くて、どこが劣っているかを分析して授業改善に役立てています。

また、学習状況調査の結果をうけ、生活面の良い点や課題を明確にして学校・家庭の学習環境などで改善を図っています。

各学校とも保護者に結果を学校だよりや面談などでお知らせし、



▲テストのための学習でなく

【委員会意見】

各学校とも学力向上に努力していますが、保護者としても学力の向上を願っています。学校・家庭での生活習慣を整えることが基本ですので、朝食を必ず摂ることや主体性のある学習習慣を身に付けられるよう指導してください。

学力を向上させた学校に習い、「読解力」の力をつけられるようにすることや、放課後に児童教室で過ごす子どもたちが時間を有効活用できるよう関係機関と協議検討してください。

かわさき想い人



「塾を開設して3年、町の子どもたちの学習のお手伝いをしてきました。町外での生活から得た経験と感じた想いを指導に役立てています。今後子どもたちも減っていきませんが、全力で運営していきます。」と語る若手起業者を紹介します。

経験を活かし自立の手助けを

Q 塾を開設した理由を教えてください。

A 私は、中学校から町外の学校に進学し、関東の進学塾で仕事をしました。町を離れてい

Q 町内と町外の進学環境の違いは。また、どのような指導を心がけていますか。

A 仙台は関東には及ばないものの、電車を使った通学ができて、選択肢が多いといえます。川崎町の子は、親の手を借りないと通学できないのが現状です。塾が、子どもたちにとって自立の一助になるような指導を心がけています。

時間を効率的に

Q 塾のあらましと今後の運営計画は。

A 小1から高3まで全体で50人程が通塾し、そのうち中3が20人程です。今後は、板書の時間を減らしてモニターを使った授業を提供したり、保護者のみなさんの負担を減らすため送迎をつけたりといろいろ考えています。

両輪で支える

Q 町の教育に対する想いがありますか。

A 学校と民間教育の両輪で子どもたちの学習を支えればと思えます。校門でパンフレットを配らせてもらったときも快く受け入れていただき大変助かりました。何か連携できれば是非させてもらいたいです。

親の負担を

Q どのような町が理想で、気づいたら良いと思えますか。

A 子育てのしやすさが一番だと思います。通学などの親の負担を軽減することができれば、もっと良い町になると思います。そのために、行政や関係機関には民間業者の考えを知っていただく機会があると嬉しいですね。



おかだ やすのり 岡田 泰典さん (古閑)



遠藤 美津子 議員

以前の質問確認したい!!

追跡質問

問 発達障がい児支援の進捗は

答 4月から専門機関に委託

問 3月会議で発達障がい児の現状と課題について質問をしましたが、その後の進捗状況を伺います。

答 保健福祉課長
4月から専門機関に委託して支援事業を実施しています。発達障がいに関する正しい理解と支援を学ぶ機会を提供できるよう講演会を開催するなど、前向きに取り組んでいきます。

問 乳幼児から成人期までの各ライフステージに合わせ、一貫した支援体制を継続的に実施することが重要だと考えますが。

答 保健福祉課長
さまざまな観点から検討していきます。
答 教育長
教育委員会も指導および支援をしていきます。

11月会議

学習環境改善に補正予算

11月20日、町内小中学校全部の58教室にエアコンを整備するための一般会計補正予算案1件を審議し、原案どおり可決しました。



各学校のエアコン設置予定数

	普通教室	特別教室	合計
川崎小	13	4	17
川二小	7	1	8
前川小	5	1	6
富岡小	6	1	7
川崎中	9	5	14
富岡中	3	3	6
合計	43	15	58

視察受け入れ

当町議会広報紙「カワサキ議会情報便」の編集・発行等を研修するため来町されました。

より親しんでいただける議会広報紙づくりや議会活性化への取り組みなど、活発に意見が交わされました。



あいさいし 11/6 愛知県愛西市議会

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか、また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は3月5日(火)
一般質問は3月6日(水)・7日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は11月会議0人、12月会議27人、1月会議0人、ライブ中継は83アクセスでした。)

詳しくは、
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111
(内線1302)

私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



町の風景



楽しみはこの先に...

撮影 コラボレーター 藤原義信さん

町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明

「挑戦してこそ成長あり」

川崎小学校授業参観にて

撮影 コラボレーター 藤原義信さん



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷